

2018年3月期 決算説明会

2018年 5月 15日

喜びを創り喜びを提供する

寿心 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222

目次

- 2018年3月期 決算概要 P 1～22
- 2019年3月期 通期業績予想 P 23～27
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 28～50
- 株式の状況・株主還元 P 51～54
- 参考情報 P 55～69



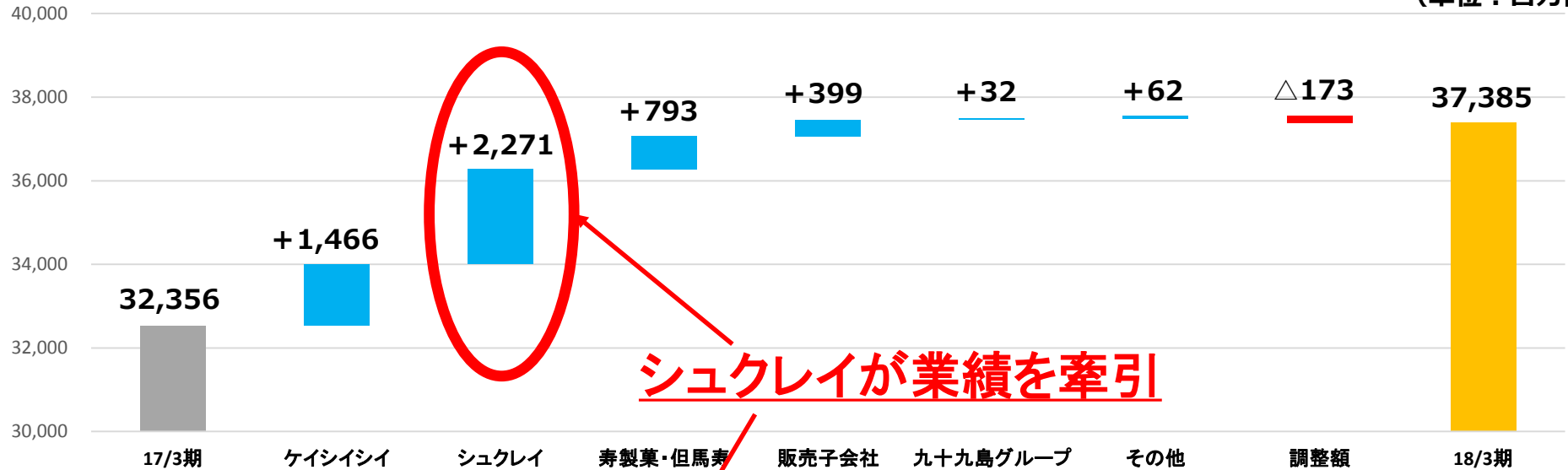
2018年3月期 決算概要

2018年3月期の業績ハイライト

- 売上が前期比**14.9%増**となり、**7期連続**で過去最高値を更新。経常利益は**29.5%増**となり、**3期連続**で過去最高値を更新。
- シュクレイの営業利益は、対前期比**94.3%増**の1,188百万円となり、大幅増益となる。ブランド認知度向上による売上拡大と**グループ再編効果**により収益性が改善。
- 国際線ターミナル免税エリアでの販売強化が奏功し、インバウンド売上が、前期比**77.2%増**の3,472百万円となり、大幅に伸長。

【売上高】2018年3月期業績の前年同期比増減分析

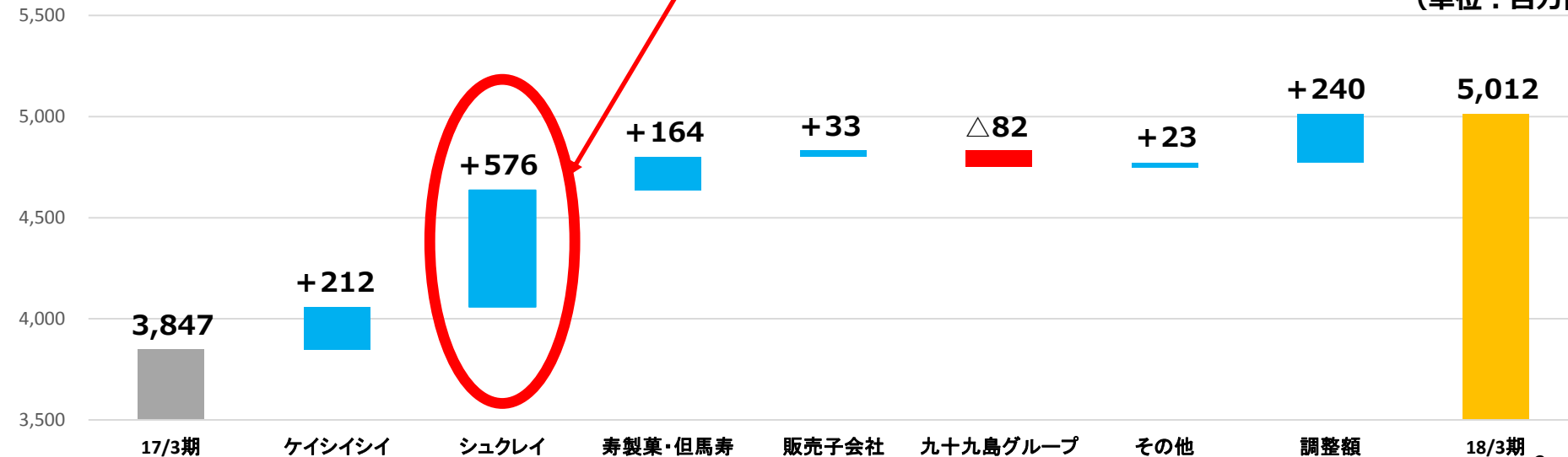
(単位：百万円)



シュクレイが業績を牽引

【営業利益】2018年3月期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【インバウンド売上高】

(単位：百万円)

2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
1,960	3,472	+1,513	+77.2%



東京ミルクチーズ工場 成田空港 AKIHABARA



LeTAO 羽田空港 TOKYO SOUVENIR SHOP



重点施策の成果②

・海外展開 (海外における事業モデルの構築)

【海外売上高】

(単位：百万円)

2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
778	1,156	+378	+48.6%



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
シンガポール Raffles City店

LeTAO 韓国 テグ店



重点施策の成果③

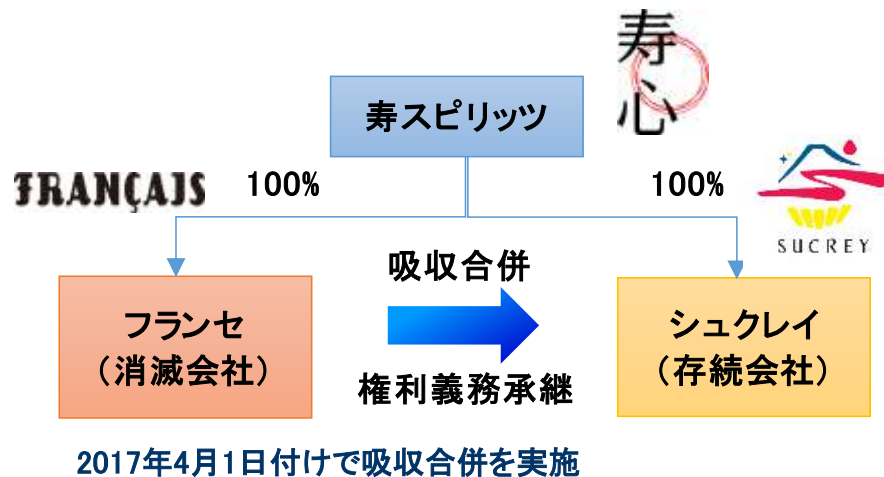
・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
9,275	11,547	+2,271	+24.5%

(注)2017年3月期の売上高は、(株)フランセが含まれている。



(参考)シュクレイ売上のグループ再編影響

(単位：百万円)

	17/3期	18/3期	増減	増減率
旧シュクレイ	5,501	8,501	3,000	54.5%
旧フランセ	3,774	3,046	△ 728	△19.3%
合計	9,275	11,547	2,271	24.5%



通期のトピックス①

シュクレイ 売上高 初の100億円突破、首都圏での展開を更に加速

(売上高 11,547百万円 前期比+24.5%/営業利益1,188百万円 同+94.3%)



ザ・メープルマニア 東京駅グランスタ店(店舗)

Butter Butler 東京シーズンセレクト(催事)

東京ミルクチーズ工場 成田空港(卸)



Brand



シュクレイの売上高(前年比較) (百万円)

	17/3期	18/3期	増減	増減率
店舗	4,731	5,907	1,177	24.9%
催事	1,416	1,999	582	41.1%
通販	141	216	75	53.6%
卸	2,728	3,249	521	19.1%
グループ間	260	175	△84	△32.5%
計	9,275	11,547	2,271	24.5%



通期のトピックス②

シュクレイ 首都圏で新店舗4店を出店



東京ミルクチーズ工場



東京ミルクチーズ工場



東京ミルクチーズ工場・Côte Cour ルミネ荻窪
(2017年11月)



Cow Cow Kitchen EQUiA 北千住
(2017年12月)



フランセ グランエミオ所沢
(2018年3月)

通期のトピックス③

次なる成長ステージへ向けた、生産・物流体制を構築



シュクレイ 新物流拠点



寿製菓 サンドクッキーライン



ケイセイシー ラングドシャライン

通期のトピックス④

寿製菓本社工場がISO 22000を取得



寿製菓本社工場

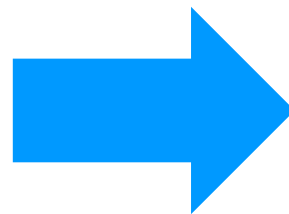
ISO 22000：食品安全マネジメントシステムに関する国際規格

・ HACCPの内容を全て含み、さらにマネジメントシステムの要素が加味された国際規格

HACCPシステム

ISO9001

(品質マネジメントシステム)



ISO 22000

※認証範囲 焼きまんじゅう、焼菓子、ゴーフレット、ラングドシャ、人形焼、バームクーヘンの製造

業績サマリー

売上高は7期連続、経常利益は3期連続の最高値更新

(百万円、%)	14年3月期	15年3月期	16年3月期	17年3月期	18年3月期
売上高	22,947	22,967	26,612	32,536	37,385
(対前期比)	(+11.1%)	(+0.1%)	(+15.9%)	(+22.3%)	(+14.9%)
営業利益	2,342	2,034	3,277	3,847	5,012
(対前期比)	(+25.2%)	(△13.2%)	(+61.1%)	(+17.4%)	(+30.3%)
経常利益	2,362	2,070	3,326	3,898	5,049
(対前期比)	(+25.0%)	(△12.4%)	(+60.7%)	(+17.2%)	(+29.5%)
当期純利益 ^{※1}	1,278	1,305	2,305	2,572	3,534
(対前期比)	(+22.6%)	(+2.1%)	(+76.7%)	(+11.6%)	(+37.4%)
売上高経常利益率(%)	10.3	9.0	12.5	12.0	13.5
EPS (円) ^{※2}	123.21	41.92	74.08	82.66	113.56
BPS (円) ^{※3}	775.95	288.53	346.14	409.20	497.16
ROE (%)	16.9	15.3	23.3	21.9	25.1

※1当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益(他の資料箇所も同様)

※2.3 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。

15年3月期・16年3月期のEPS及びBPS数値につきましては15年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

2018年3月期業績(対前期)

売上高 対前期比14.9%増 経常利益 同29.5%増
当期純利益 同37.4%増

(百万円、%)	17年3月期		18年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,536	—	37,385	—	4,849	14.9
売上総利益	18,214	56.0	21,278	56.9	3,064	16.8
販売管理費	14,367	44.2	16,266	43.5	1,899	13.2
営業利益	3,847	11.8	5,012	13.4	1,165	30.3
経常利益	3,898	12.0	5,049	13.5	1,151	29.5
当期純利益	2,572	7.9	3,534	9.5	961	37.4
EPS(円)	82.66		113.56		30.90	
ROE(%)	21.9		25.1		3.20	

セグメント別業績(対前期)

売上高は「シュクレイ」、「寿製菓・但馬寿」ともに初の100億円を突破
シュクレイの営業利益率は3.7ポイント増加の10.3%に

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	17/3期	18/3期	増減額	増減率	17/3期	18/3期	増減額
ケイシイシイ	10,376	11,841	1,466	14.1	1,446	1,657	212
シュクレイ*	9,275	11,547	2,271	24.5	611	1,188	576
寿製菓・但馬寿	9,635	10,428	793	8.2	1,065	1,230	164
販売子会社	5,120	5,518	399	7.8	377	409	33
九十九島グループ	3,287	3,319	32	1.0	△ 131	△ 213	△ 82
その他	278	340	62	22.3	△ 75	△ 53	23
セグメント計	37,971	42,994	5,022	13.2	3,293	4,219	925
調整額	△ 5,435	△ 5,608	△ 173	3.2	554	794	240
合計	32,536	37,385	4,849	14.9	3,847	5,012	1,165

※従来、独立セグメントとしていた「フランセ」は、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、「シュクレイ」に統合。
前期との比較は、変更後の区分変更により作成した数値を使用しております。

セグメント別業績の補足説明

ケイシイシイ

主力商品の販売強化に加え、新商品「テノワール」の拡販に注力。売上面では、インバウンド対策として注力している国際線ターミナル免税エリアでの売上が好調に推移。また、2018年6月に誕生20周年を迎える「ルタオ」は、2017年12月に小樽洋菓子舗ルタオ本店の売場改装を行い、ブランド価値の向上に注力。生産面では、焼菓子ラインの拡張など生産能力の向上に注力。

シュクレイ

フランセとの統合メリットを最大限発揮させるべく、生産面において、製造ラインの新設及び改修を行い、商品の一部をグループ間仕入から自社工場生産への切り替えを図る。物流面では、物流機能の集約による効率化及び能力の向上を図るため、2018年1月に物流部門の移転を実施。売上面では、「フランセ」ブランドの再構築を図り、販売チャネルの絞り込みによる減収があった一方、主力ブランドは、認知度の向上などにより既存店、催事及び国際線ターミナル免税エリアでの売上が好調に推移したことにより、シュクレイ全体では大幅な増収。新規出店では、2017年12月に「東京ミルクチーズ工場」の新業態店「Cow Cow Kitchen」をEQUIA北千住に出店するなど4店の出店を実施。

寿製菓・但馬寿

売上面では、焼菓子類を中心にグループ向け及び代理店向けの売上が好調に推移。また、自社ブランドの取り組みでは、発売50周年を迎えた名菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や「カノザ」ブランドでの催事強化に努めた。生産面では、本社工場において食品安全マネジメントに関する国際規格ISO22000の取得による品質管理の向上に努め、また、新たな製造ラインの設置及び設備導入などにより、増産体制の構築及び製品ラインナップの充実に注力。

販売子会社

駅、空港、SA・PAなど交通拠点チャネルを中心に、新製品及び主力商品のコーナー化展開を推進し、堅調に推移。主な地域別では、東海地区で主力商品「小倉トーストラングドシャ」の強化、関西地区では、インバウンド対策の強化や「大阪いかせんべい」及び「神戸メルスィーユ」などの新商品の発売、福岡地区では「まっかな苺シリーズ」による売場拡大などに注力。

九十九島グループ

売上面では、長崎・佐世保地区が熊本地震の影響による低迷から回復基調にある一方、福岡地区が福岡空港の改装工事に伴う売場縮小などにより苦戦。フレンチトースト専門店「Ivorish(アイボリッシュ)」は、2017年10月に初となるギフトショップ「Ivorish東京ソラマチ店」をオープンし、また、新商品「フレンチトーストクッキー」を発売するなど、ブランドの認知度向上に注力。

売上高(販売チャネル別)

店舗販売はシュクレイ直営店及び「ルタオ」道内店舗の好調などにより対前期比 17.1%増
卸売はインバウンド売上の伸長などにより同12.1%増

(百万円、%)	17年3月期		18年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,536	—	37,385	—	4,849	14.9
通信販売	2,358	7.2	2,557	6.8	199	8.4
(内ルタオ通販)	1,891	5.8	2,011	5.4	119	6.3
店舗販売	14,098	43.3	16,510	44.2	2,412	17.1
卸売	15,263	46.9	17,113	45.8	1,851	12.1
海外	778	2.4	1,156	3.1	378	48.6
その他	39	0.1	49	0.1	10	25.4

(注) 店舗販売は、主に直営店舗、催事など
卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど
その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

売上総利益率は、設備投資効果による生産効率の改善などにより対前期比 0.9ポイント増加

(百万円、%)	17年3月期		18年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,536	—	37,385	—	4,849	14.9
材料費	8,021	24.7	8,969	24.0	948	11.8
労務費	3,616	11.1	4,052	10.8	436	12.1
製造経費	1,843	5.7	2,140	5.7	298	16.2
製造原価計	13,480	41.4	15,162	40.6	1,682	12.5
その他	842	2.6	945	2.5	103	12.2
売上原価合計	14,322	44.0	16,107	43.1	1,785	12.5
売上総利益	18,214	56.0	21,278	56.9	3,064	16.8

販売管理費・営業利益

売上高販管費比率は、対前期比0.7ポイント減少

(百万円、%)	17年3月期		18年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	18,214	56.0	21,278	56.9	3,064	16.8
人件費	6,016	18.5	6,599	17.7	582	9.7
販売促進費	2,587	8.0	3,129	8.4	542	20.9
運賃	1,115	3.4	1,270	3.4	156	14.0
広告宣伝費	250	0.8	265	0.7	15	6.2
地代家賃	1,761	5.4	2,174	5.8	414	23.5
減価償却費	364	1.1	375	1.0	12	3.2
旅費交通費	500	1.5	589	1.6	88	17.6
その他	1,774	5.5	1,865	5.0	91	5.1
販売管理費	14,367	44.2	16,266	43.5	1,899	13.2
営業利益	3,847	11.8	5,012	13.4	1,165	30.3

- 人件費の増加は、主に販売部門を中心に人員増によるもの。また、前期業績達成に伴う社内イベント費用が約70百万円増加。
- 販売促進費の増加は、主にシュクレイ及びケイシイシイを中心にマネキン費用の増加、イベント販促強化など。

公表数字に対する達成率

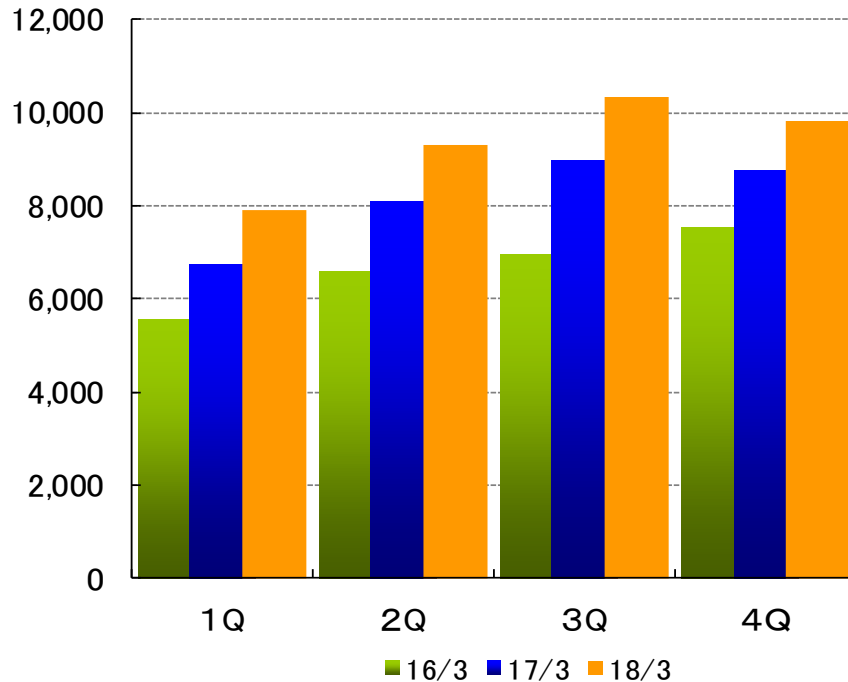
主にクリスマス・年末商戦の売上伸長及び製造稼働率の改善などにより
売上面・利益面ともに修正予想を上回る

(百万円、%)	期初予想 2017.5.15公表		修正予想 2017.11.1公表		18年3月期		対修正予想	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	36,000	—	36,740	—	37,385	—	645	101.8
売上総利益	20,300	56.4	20,773	56.5	21,278	56.9	505	102.4
販売管理費	15,850	44.0	16,103	43.8	16,266	43.5	163	101.0
営業利益	4,450	12.4	4,670	12.7	5,012	13.4	342	107.3
経常利益	4,500	12.5	4,700	12.8	5,049	13.5	349	107.4
当期純利益	3,150	8.8	3,300	9.0	3,534	9.5	234	107.1

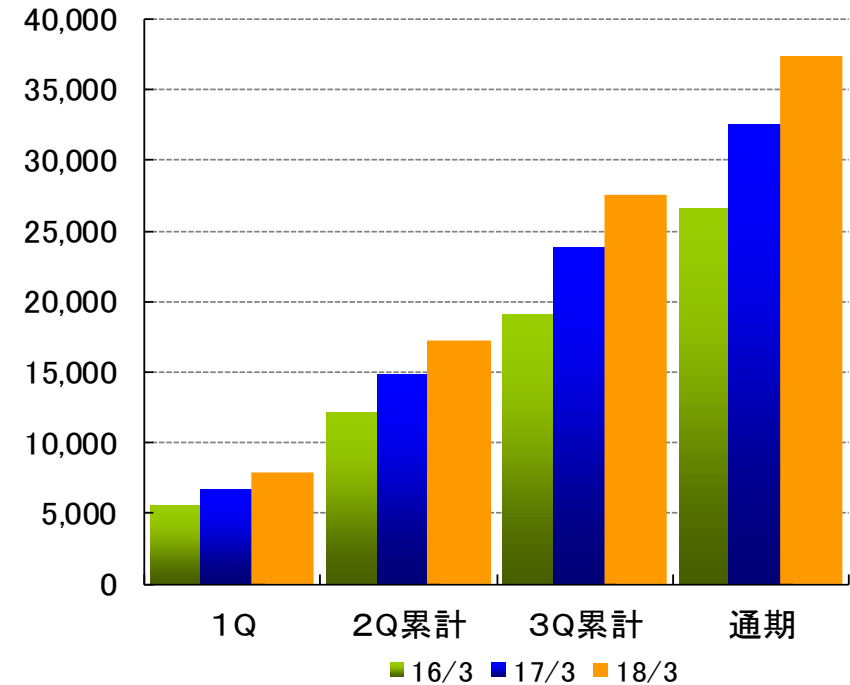
四半期業績の推移(売上高)

12四半期連続で増収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



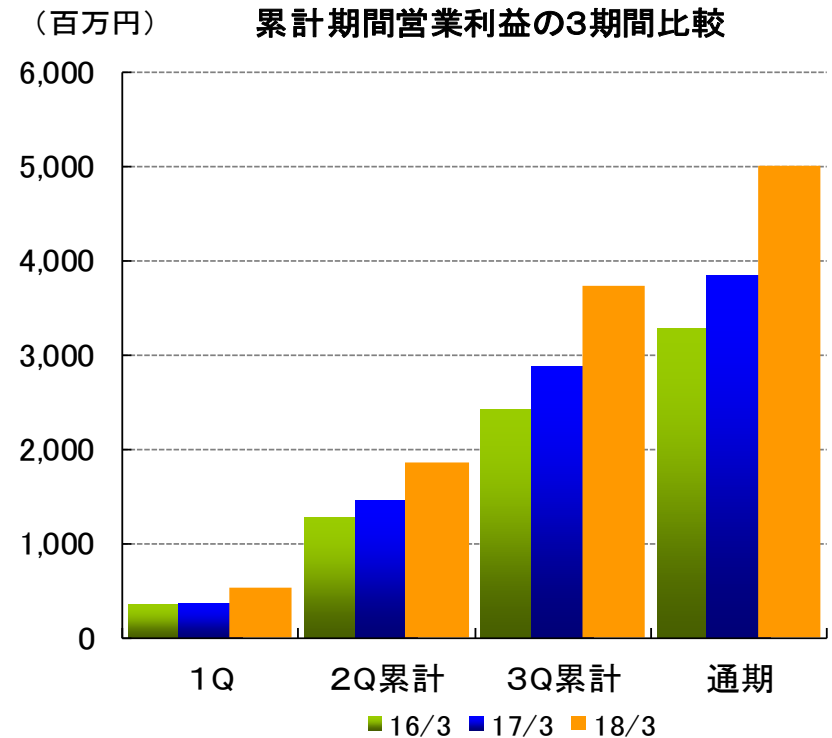
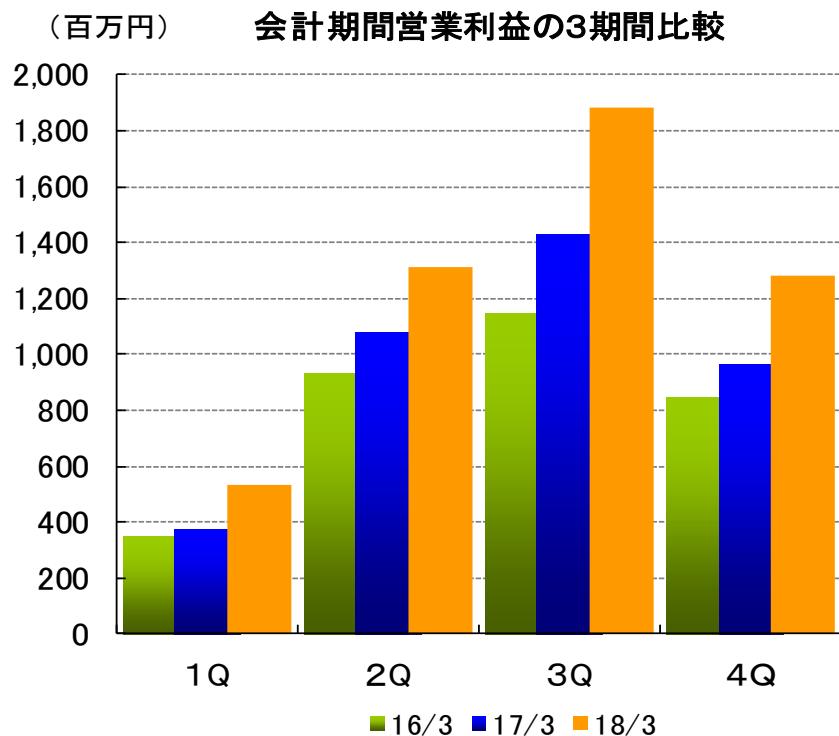
(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
16/3	5,542	6,569	6,968	7,534	5,542	12,111	19,078	26,612
17/3	6,724	8,077	8,984	8,751	6,724	14,801	23,785	32,536
18/3	7,920	9,299	10,328	9,838	7,920	17,219	27,547	37,385
増減率	17.8%	15.1%	15.0%	12.4%	17.8%	16.3%	15.8%	14.9%

四半期業績の推移(営業利益)

12四半期連続で増益



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
16/3	350	931	1,148	848	350	1,280	2,429	3,277
17/3	373	1,080	1,430	965	373	1,453	2,882	3,847
18/3	535	1,314	1,882	1,281	535	1,849	3,731	5,012
増減率	43.6%	21.7%	31.6%	32.8%	43.6%	27.3%	29.4%	30.3%

貸借対照表

工場改修、製造ラインの新設などにより設備投資額は対前期比476百万円増加の1,948百万円

(百万円、%)	16年3月期		17年3月期		18年3月期		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	8,517	47.5	9,455	48.5	11,333	50.9	1,877	19.9
固定資産	9,420	52.5	10,045	51.5	10,944	49.1	899	9.0
資産合計	17,937	100.0	19,500	100.0	22,277	100.0	2,777	14.2
流動負債	4,819	26.9	4,727	24.2	4,908	22.0	180	3.8
固定負債	2,346	13.1	2,039	10.5	1,898	8.5	△ 141	△ 6.9
負債合計	7,165	39.9	6,766	34.7	6,805	30.5	39	0.6
純資産	10,772	60.1	12,734	65.3	15,472	69.5	2,737	21.5
負債純資産合計	17,937	100.0	19,500	100.0	22,277	100.0	2,777	14.2
BPS(円)※	346.14		409.20		497.16		87.96	21.5
設備投資額	797		1,472		1,948		476	32.4
減価償却費	736		879		1,049		170	19.3

※当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。
16年3月期のBPS数値につきましては16年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

キャッシュ・フロー計算書

フリーキャッシュ・フローは対前期比202百万円増加の2,305百万円

(百万円、%)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	対前期	
	通期	通期	通期	増減額	増減率
営業活動CF	3,244	3,071	4,158	1,087	35.4
投資活動CF	△ 2,343	△ 967	△ 1,853	△ 885	91.6
フリーCF	901	2,104	2,305	202	9.6
財務活動CF	△ 284	△ 1,809	△ 1,108	702	△ 38.8
cashに係る換算差額	△ 6	3	△ 0	△ 4	△ 107.2
cash増減	611	297	1,197	900	302.5
cash期首	2,555	3,254	3,551	297	9.1
連結範囲の変更に伴うcashの増減額	88	-	-	-	-
cash期末	3,254	3,551	4,749	1,197	33.7
有利子負債	2,178	1,011	693	△ 318	△ 31.5

●16年3月期の投資活動によるキャッシュ・フローには、連結の範囲の変更に伴う子会社株式取得による支出(フランセに対する貸付)1,388百万円が含まれる。



2019年3月期 通期業績予想

2019年3月期 通期業績予想のポイント

● 予想スタンス	経営環境は、個人消費の持ち直しが続くことが期待される一方、業種、業態を超えた競争の激化や物流コストの上昇などにより、厳しい環境が続く想定のもと、引き続き、首都圏及びインバウンド対策の強化などの重点施策の遂行と現場力の向上を図り、過去最高益の連続更新を目指す。
● セグメント	「寿製菓・但馬寿」が売上面・利益面ともに前期並みの予想になっている要因は、グループ全体における製造キャパシティ拡大の目的から、グループ向け製造売上の一部を他のグループ製造拠点に移管する影響。九十九島グループは、この影響なども加わり、黒字転換を予想。
● 新規出店等	新規出店では、シュクレイで南青山に「フランセ本店」(6月)、九十九島グループでIvorish立川店(6月)、販売子会社でコンデイトライ神戸「神戸マルイ店」(4月)など。
● 税金費用	前期に、繰延税金資産の評価見直しや税額控除等により、税負担が一時的に抑えられた反動により、予想税金負担率は4.9ポイント増加の34.7%を予想。
● 設備投資・減価償却費	設備投資計画は、製造ラインの合理化、増産に向けた新設・更新を中心にグループ全体で17億円を予想、減価償却費予想は12億円。

2019年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高**40,600**百万円(前期比**+8.6%**)、経常利益**5,850**百万円(同**+15.9%**)
純利益**3,820**百万円(同**+8.1%**)

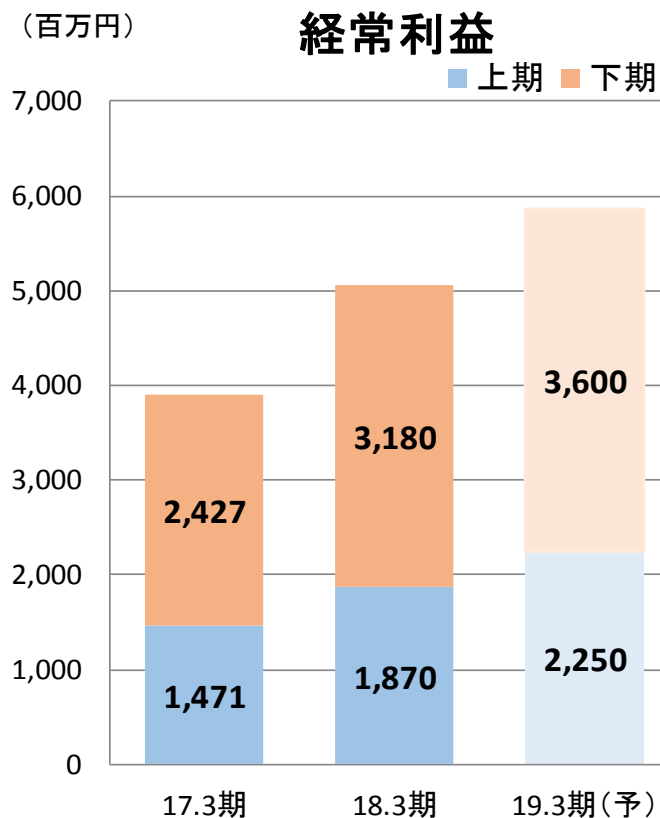
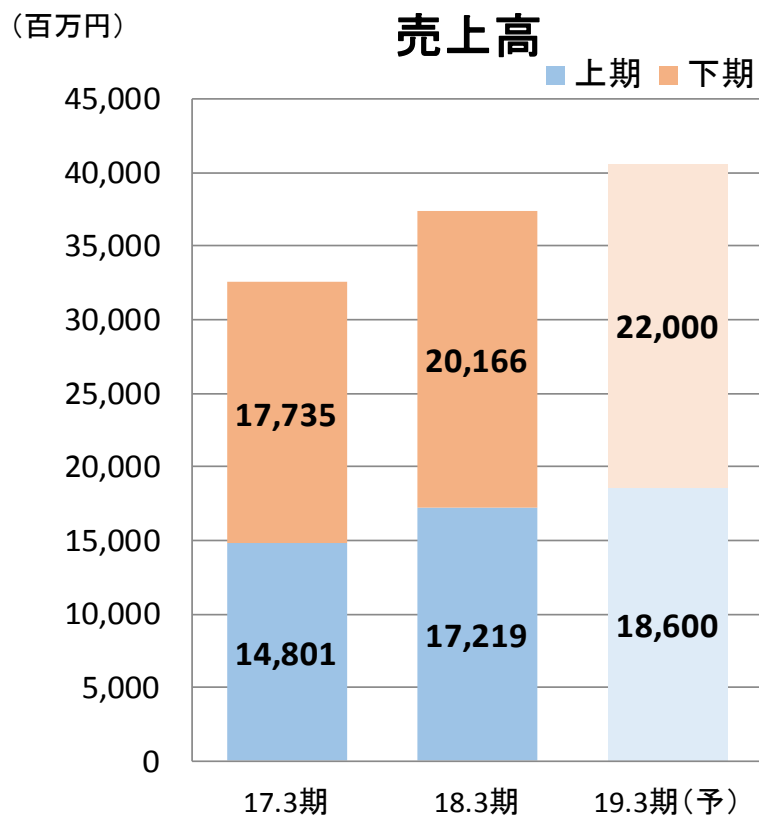
(百万円、%)	18年3月期		19年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	37,385	-	40,600	-	3,215	8.6
売上総利益	21,278	56.9	23,450	57.8	2,172	10.2
販売管理費	16,266	43.5	17,650	43.5	1,384	8.5
営業利益	5,012	13.4	5,800	14.3	788	15.7
経常利益	5,049	13.5	5,850	14.4	801	15.9
純利益	3,534	9.5	3,820	9.4	286	8.1
EPS(円)	113.56		122.75		9.19	8.1
1株当たり配当金(円)	35.00		35.00		-	-
設備投資	1,948		1,700		△ 248	△ 12.7
減価償却費	1,049		1,200		151	14.4

2019年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイ 売上高13,400百万円 営業利益1,560百万円

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	18/3月期	19/3月期予	増減額	増減率	18/3月期	19/3月期予	増減額
ケイセイセイ	11,841	12,500	659	5.6	1,657	1,750	93
シュクレイ	11,547	13,400	1,853	16.0	1,188	1,560	372
寿製菓・但馬寿	10,428	10,430	2	0.0	1,230	1,220	△ 10
販売子会社	5,518	5,774	256	4.6	409	460	51
九十九島グループ	3,319	3,650	331	10.0	△ 213	10	223
その他	340	330	△ 10	△ 2.9	△ 53	△ 30	23
セグメント計	42,994	46,084	3,090	7.2	4,218	4,970	752
調整額	△ 5,608	△ 5,484	124	△ 2.2	794	830	36
合計	37,385	40,600	3,215	8.6	5,012	5,800	788

2019年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	17.3期	構成比	18.3期	構成比	19.3期(予)	構成比	17.3期	構成比	18.3期	構成比	19.3期(予)	構成比
上期	14,801	45.5%	17,219	46.1%	18,600	45.8%	1,471	37.7%	1,870	37.0%	2,250	38.5%
下期	17,735	54.5%	20,166	53.9%	22,000	54.2%	2,427	62.3%	3,180	63.0%	3,600	61.5%
通期	32,536	100.0%	37,385	100.0%	40,600	100.0%	3,898	100.0%	5,049	100.0%	5,850	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2018年経営スローガン

超絶 WSR!!

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言
ワールド(W) **世界へ**
サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**
リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

実践項目

超現場主義の徹底実践

目標指標

売上高経常利益率 **20%**

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

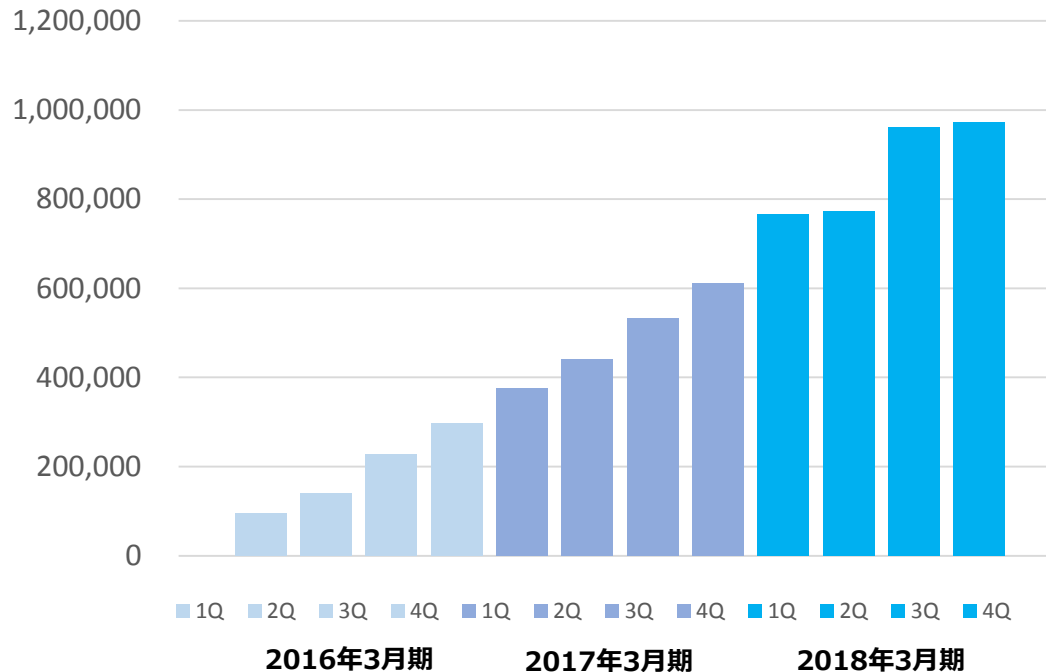
重点施策

①インバウンド対策の強化

- ・主要都市空港の国際線ターミナル免税エリアでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応

(単位:千円)

インバウンド売上高推移



LeTAO成田空港

重点施策

②海外展開 (海外における事業モデルの構築)

・アジア6カ国39店舗(常設店のみ)にまで拡大



東京ミルクチーズ工場

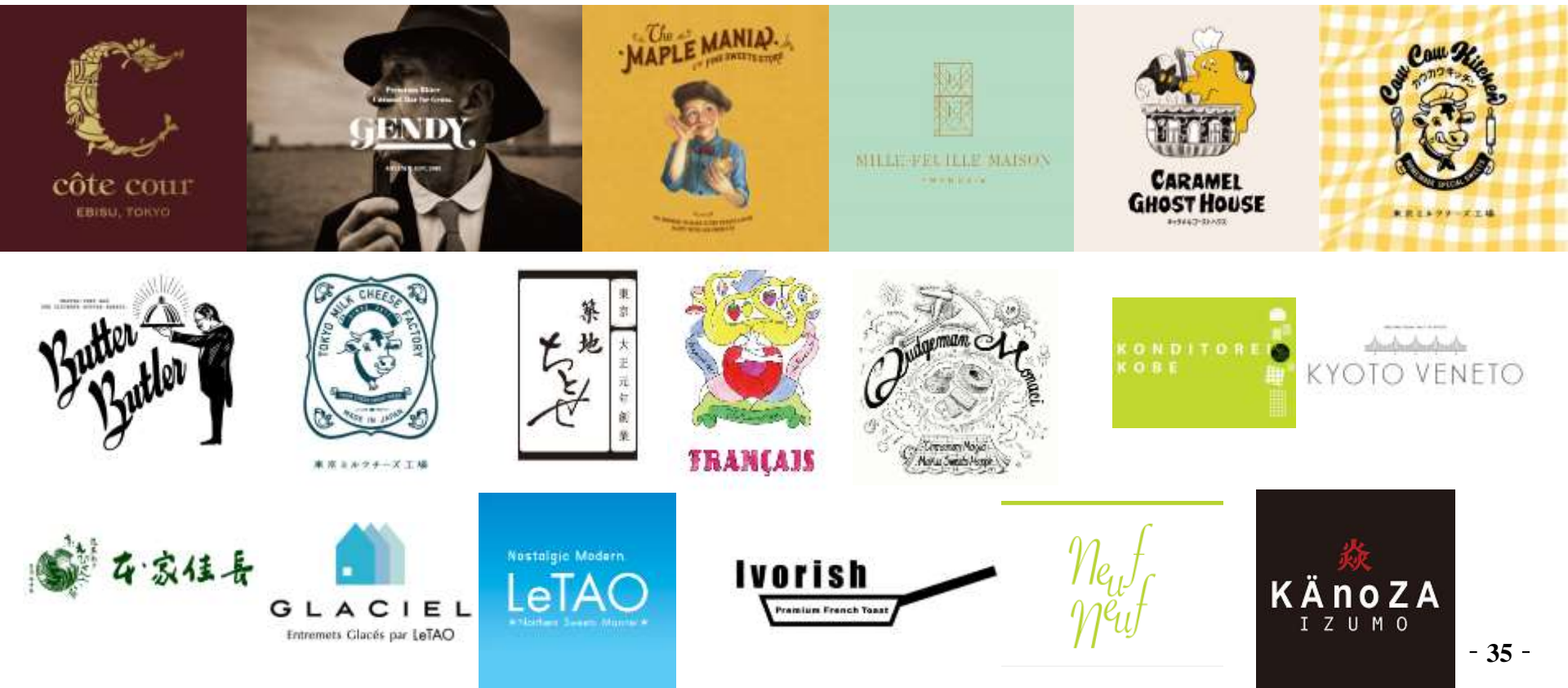
主要ブランドの出店地域

- ・ 台湾 (子会社) 2店
 - ・ 香港 (合弁) 1店
 - ・ 韓国 (FC) 5店
 - ・ タイ (FC) 3店
 - ・ シンガポール (FC) 1店
-
- ・ 香港 (合弁) 3店
 - ・ 韓国 (FC) 9店
 - ・ タイ (FC) 1店
 - ・ フィリピン (FC) 12店
 - ・ シンガポール (FC) 1店

重点施策

③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 既存店売上の増大、新規出店、リロケーション、催事強化及び卸売販路拡大
- ・グループ各社 主力ブランドによる催事展開の推進



重点施策

④プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

・美味しさの追求と、少チャネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進



MILLE-FEUILLE MAISON
FRANÇAIS

重点施策数値目標

(単位：百万円)

	実績 17年3月期	実績 18年3月期	目標数値 19年3月期
インバウンド売上	1,960	3,472	4,400
海外売上	778	1,156	1,300
シュクレイ売上	9,275	11,547	13,400

インバウンド売上…国内主要国際空港免税エリアでの売上

海外売上…台湾は現地法人売上、その他の国は、国内出荷売上（ロイヤルティ含む）

シュクレイ売上…シュクレイの売上はインバウンド及び海外売上も含まれている

17年3月期の実績数値についてはフランスの売上が含まれている

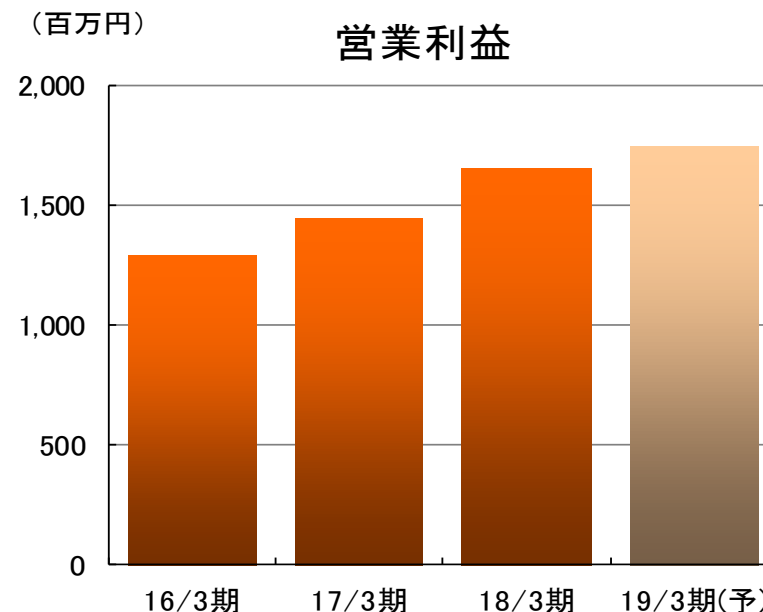
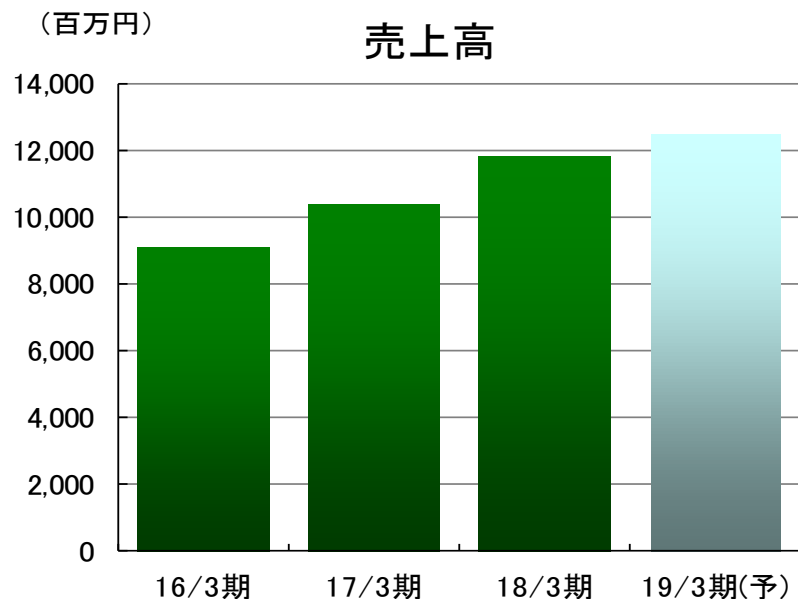
セグメント別概況

- ケイシイシイ
- シュクレイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他



《ケイシイシイ》

来期予想:売上高 **12,500**百万円(前期比**+5.6%**)営業利益 **1,750**百万円(同**+5.6%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	16/3期	17/3期	18/3期	対前期		19/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,095	10,376	11,841	1,466	14.1	12,500	659	5.6
売上総利益	5,535	6,280	7,230	951	15.1	7,630	400	5.5
粗利率	60.9	60.5	61.1	0.5		61.0	△ 0.0	
販売管理費	4,245	4,834	5,573	739	15.3	5,880	307	5.5
営業利益	1,290	1,446	1,657	212	14.6	1,750	93	5.6

《ケイシイシイ》

2018年6月に20周年を迎える「LeTAO」、現場力強化により 更なるブランド価値の向上を図る



- ・商品開発を推進し、新ブランド展開、季節イベントでの訴求力向上を図る
- ・物流コストの増加抑制を図るため、関東に物流センターを設置(2018年4月)



ルタオ本店リニューアル(2017年12月)

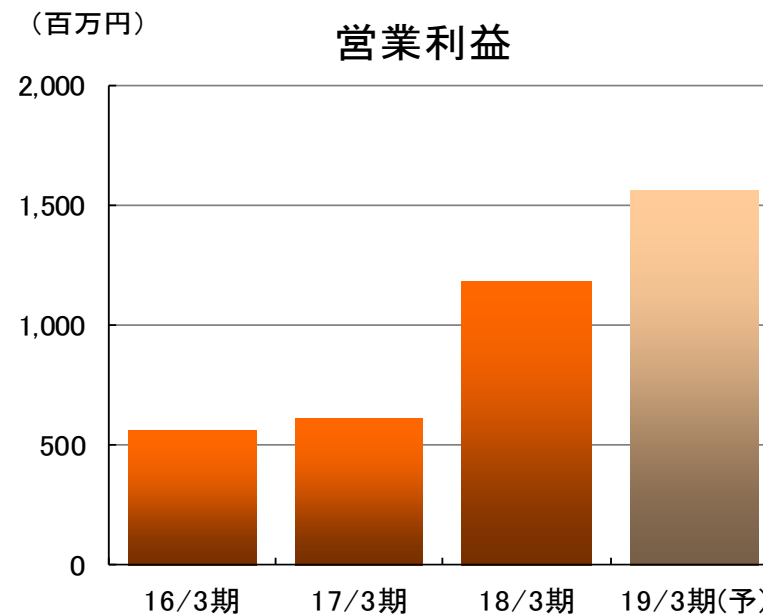
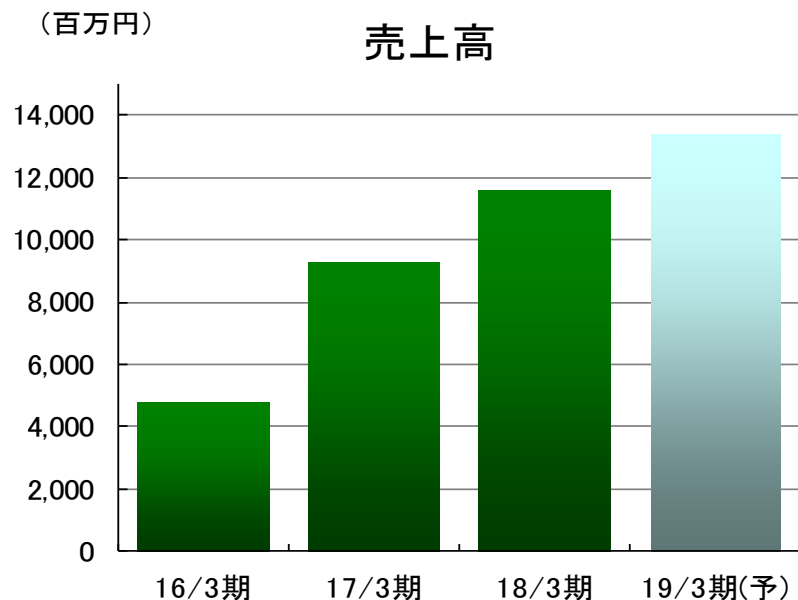


フロマージュデニッシュ専門店 デニルタオ
ルタオ本店前にOPEN(2018年4月)



《シュクレイ》

来期予想:売上高 **13,400**百万円(前期比**+16.0%**)営業利益 **1,560**百万円(同**+31.3%**)



シュクレイ

(百万円,%)	16/3期	17/3期	18/3期	対前期		19/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,735	9,275	11,547	2,271	24.5	13,400	1,853	16.0
売上総利益	2,667	4,990	6,692	1,701	34.1	8,060	1,368	20.5
粗利率	56.3	53.8	58.0	4.2		60.1	2.2	
販売管理費	2,102	4,379	5,504	1,125	25.7	6,500	996	18.1
営業利益	565	611	1,188	576	94.3	1,560	372	31.3

※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。16/3期及び17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



《シュクレイ》

フランスとの統合シナジー効果を最大限に発揮させ 首都圏での成長を加速させる

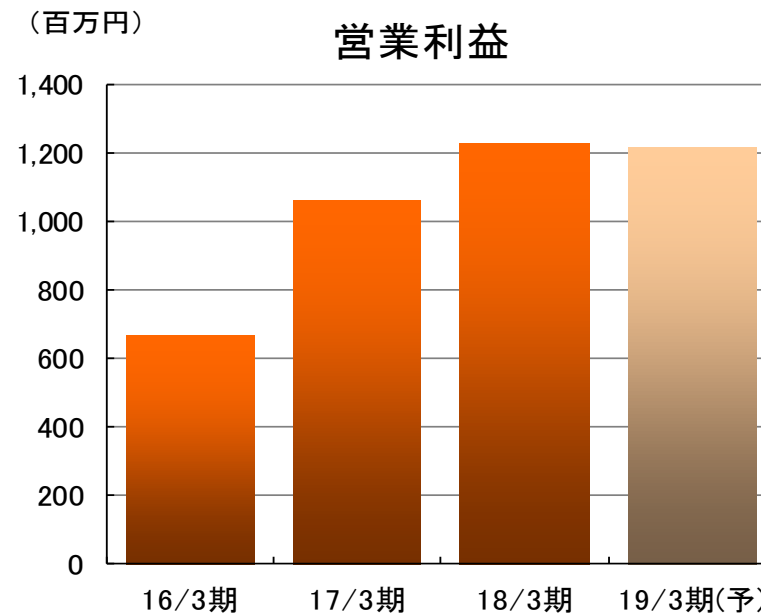
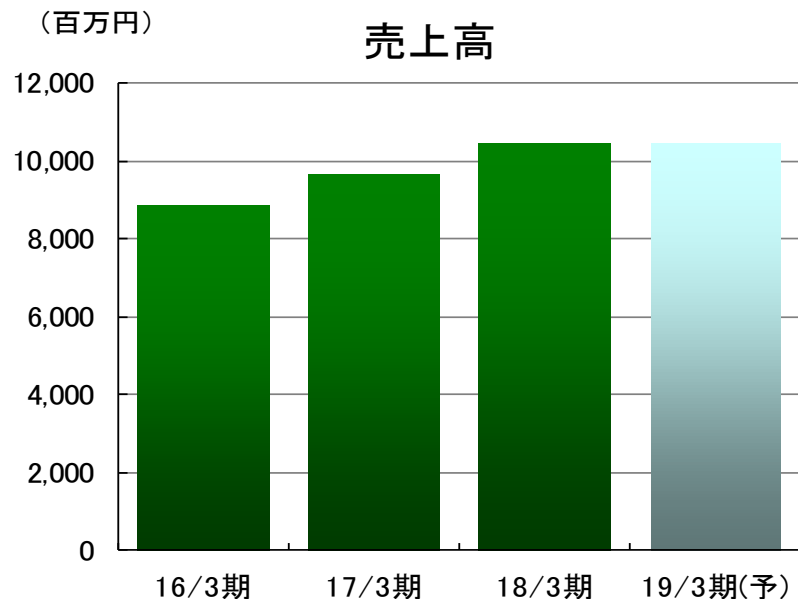
- ・現場力の強化により、ブランド認知度を向上させ、既存店売上の更なる増大を目指す
- ・Cow Cow Kitchen EQUiA北千住店をモデルケースとした工房・物販一体型のハイブリット店舗の展開を始動
- ・「フランス」ブランドでは、南青山にフランス本店を開店(2018年6月予定)



Cow Cow Kitchen EQUiA 北千住

《寿製菓・但馬寿》

来期予想:売上高 **10,430**百万円(前期比**+0.0%**)営業利益 **1,220**百万円(同**△0.8%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	16/3期	17/3期	18/3期	対前期		19/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,867	9,635	10,428	793	8.2	10,430	2	0.0
売上総利益	3,328	3,748	3,958	211	5.6	3,980	22	0.5
粗利率	37.5	38.9	38.0	△ 0.9		38.2	0.2	
販売管理費	2,657	2,682	2,729	46	1.7	2,760	31	1.1
営業利益	671	1,065	1,230	164	15.4	1,220	△ 10	△ 0.8

《寿製菓・但馬寿》

新ライン体制構築により、多種多様な製品生産システムの一層のレベルアップを図る

- ・代理店及びグループ各社との連携強化により、主力商品の強化及び新商品の育成をサポート
- ・自社ブランドでは、「因幡の白うさぎ」などの主力商品強化、「KAnoZA」ブランドでの催事展開を推進
- ・グループ全体における製造キャパシティ拡大の目的から、グループ向け製造売上の一部を他のグループ製造拠点に移管



白うさぎフィナンシェ・因幡の白うさぎ



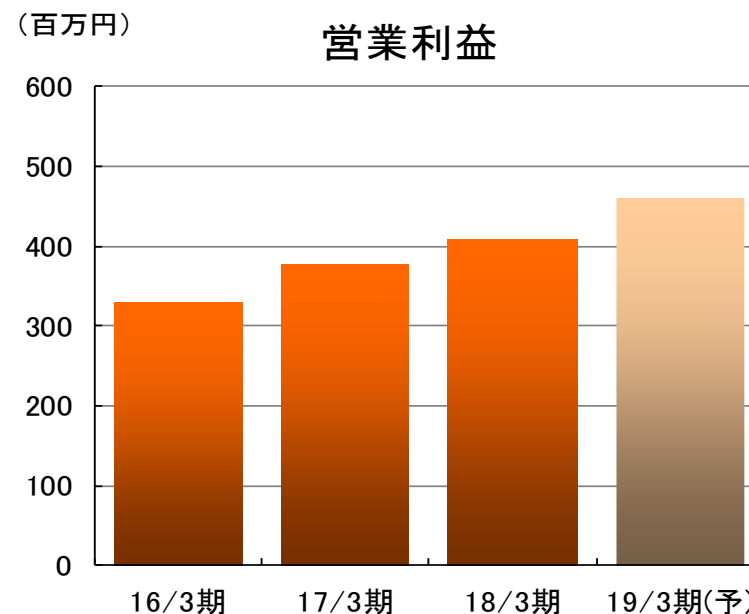
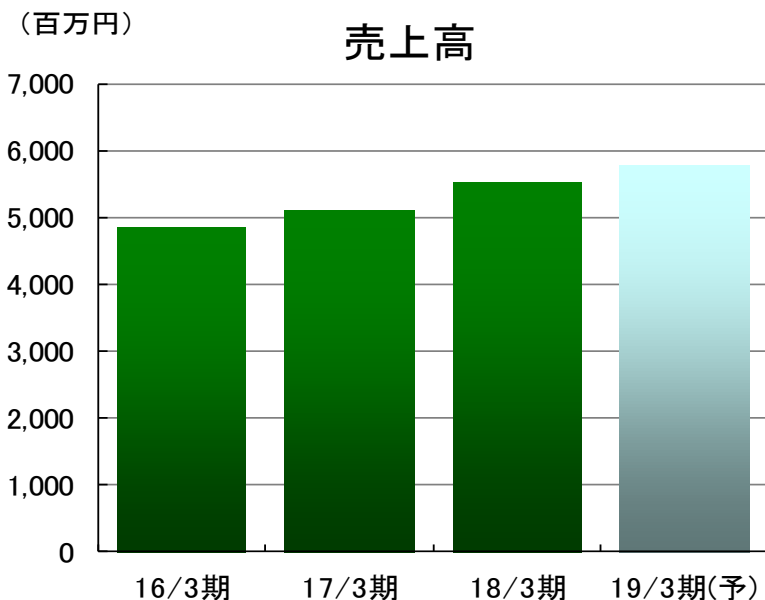
蒜山JERSY HILLS
ブルーベリーペークドバー



蒜山JERSY HILLS
ラズベリークリームサンドクッキー

《販売子会社》

来期予想:売上高 **5,774**百万円(前期比**+4.6%**)営業利益 **460**百万円(同**+12.4%**)



販売子会社

(百万円,%)	16/3期	17/3期	18/3期	対前期		19/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,868	5,120	5,518	399	7.8	5,774	256	4.6
売上総利益	1,550	1,706	1,863	157	9.2	1,964	101	5.4
粗利率	31.8	33.3	33.8	0.4		34.0	0.2	
販売管理費	1,221	1,329	1,454	125	9.4	1,504	50	3.4
営業利益	330	377	409	33	8.7	460	51	12.4

《販売子会社》

主力商品の育成及び新商品の拡販に向け、提案営業強化

- ・交通拠点チャネル(駅・空港・SA)を中心に、売場拡大、リロケーションなど提案営業を強化



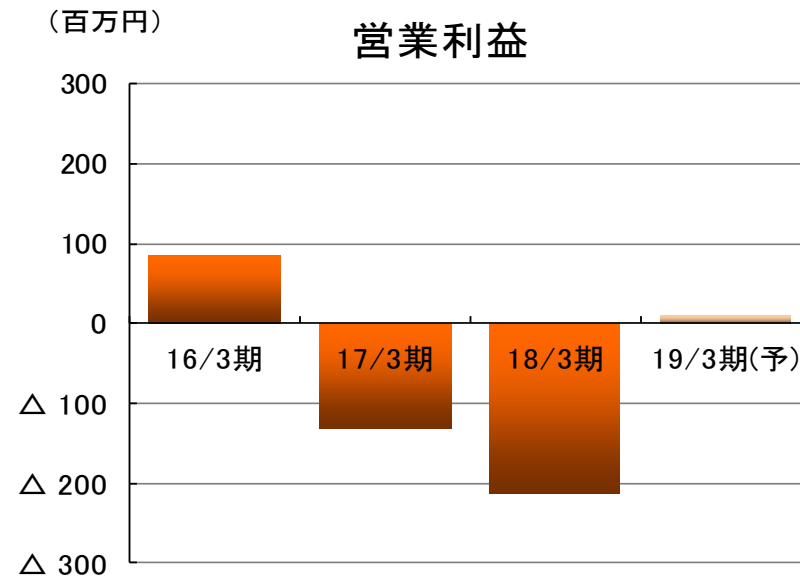
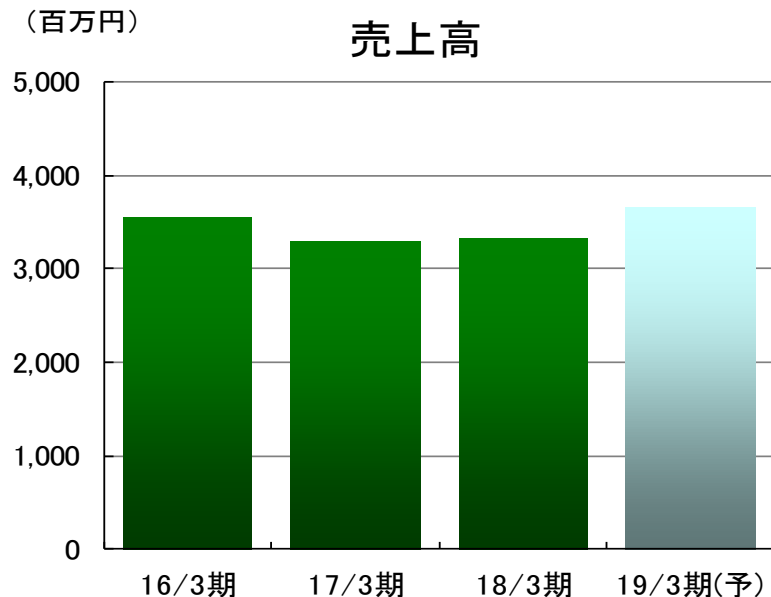
KONDITIONEIREI KOBE「神戸マルイ店」出店
(2018年4月)



博多 まっかな苺のミルフィユ うまディスプレイ

《九十九島グループ》

来期予想:売上高 **3,650**百万円(前期比**+10.0%**)営業利益 **10**百万円(前期は営業損失213百万円)



九十九島グループ

(百万円,%)	16/3期	17/3期	18/3期	対前期		19/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,554	3,287	3,319	32	1.0	3,650	331	10.0
売上総利益	1,525	1,389	1,383	△ 6	△ 0.4	1,700	317	22.9
粗利率	42.9	42.2	41.7	△ 0.6		46.6	4.9	
販売管理費	1,440	1,519	1,596	76	5.0	1,690	94	5.9
営業利益	85	△ 131	△ 213	△ 82	-	10	223	-

《九十九島グループ》



抜本的な経営の見直しを図り、早期のV字回復を目指す

- ・新ライン設置、ライン統合、アイテムの見直し、不採算店舗の閉鎖などによる採算の改善
- ・新商品投入などによる長崎エリアでの展開強化及び福岡エリアの売場回復
- ・フレンチトースト専門店「Ivorish」は、新規出店とギフト展開を強化
(2018年6月 ららぽーと立川立飛にOPEN予定)



フレンチトーストクッキー

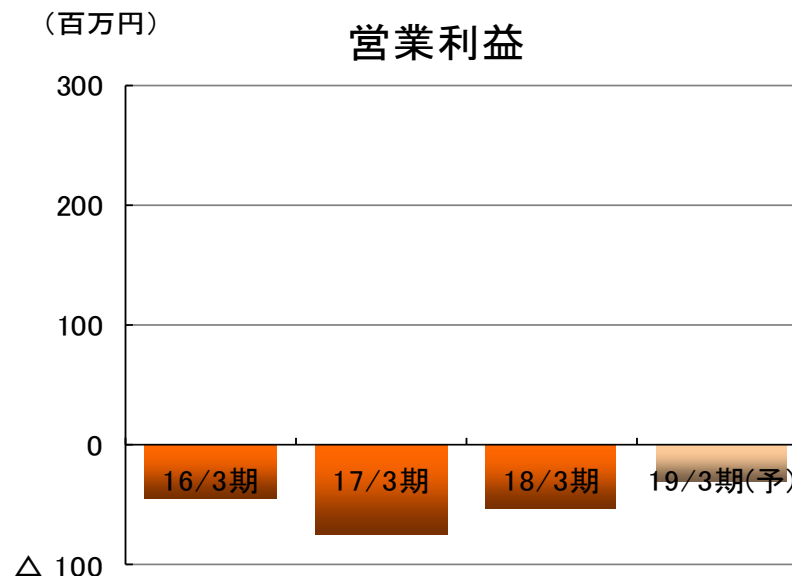
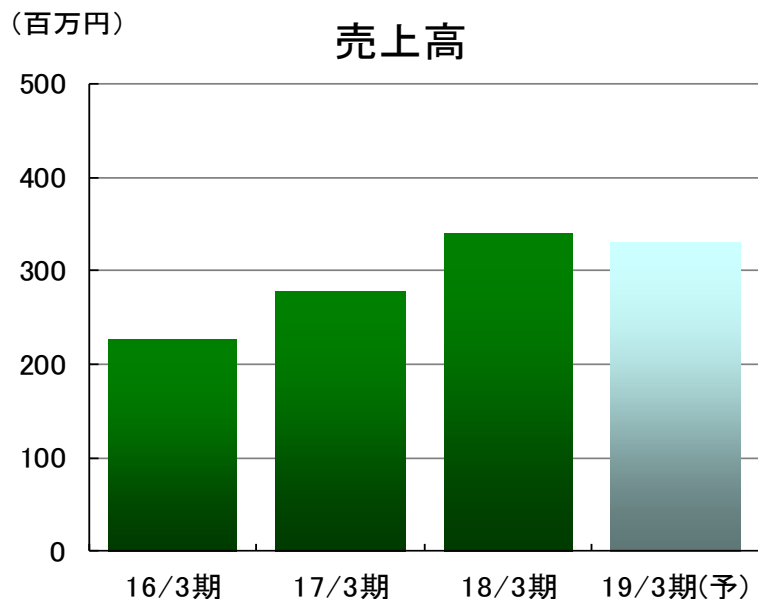


Ivorish東京ソラマチ出店 (2017年10月)



《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

来期予想:売上高 **330**百万円(前期比 $\Delta 2.9\%$)営業損失 **30**百万円(前期は営業損失53百万円)



その他

(百万円,%)	16/3期	17/3期	18/3期	対前期		19/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	227	278	340	62	22.3	330	$\Delta 10$	$\Delta 2.9$
売上総利益	160	175	198	24	13.5	210	12	5.9
粗利率	70.5	62.9	58.3	$\Delta 4.5$		63.6	5.3	
販売管理費	205	250	251	1	0.4	240	$\Delta 11$	$\Delta 4.3$
営業利益	$\Delta 45$	$\Delta 75$	$\Delta 53$	23	-	$\Delta 30$	23	-

《その他》

- ・台湾菓子事業 現在「ルタオ」カフェ店舗2店舗と催事を展開。「東京ミルクチーズ工場」での出店を準備
- ・健康食品事業 純藍の事業軌道化に向け、藍の認知度拡大と通販事業に注力

小樽
洋菓子
ルタオ

Reimagined Modern
LeTAO



LeTAO小樽洋菓子舗（松菘店）

純藍



純藍茶



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2018年3月31日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

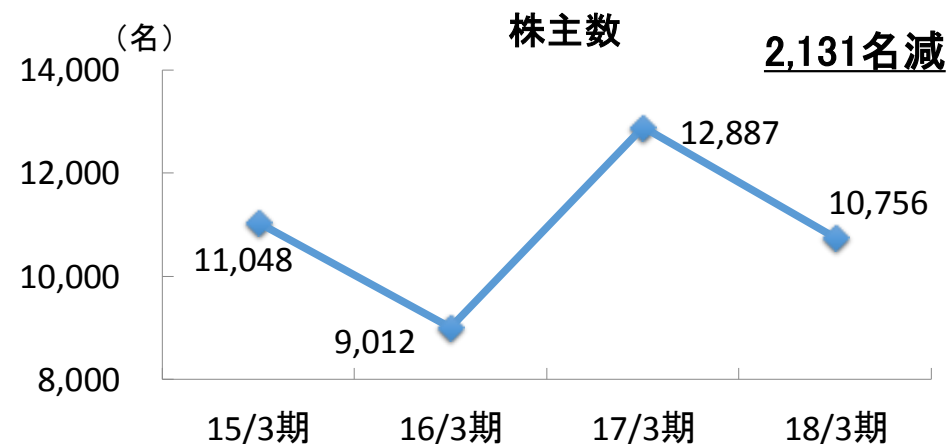
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 10,756名

(対前期末比 2,131名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	1,046,500	3.36
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,020,800	3.28
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
寿スピリッツ従業員持株会	846,467	2.72

注)出資比率は、自己株式1,798株を除く

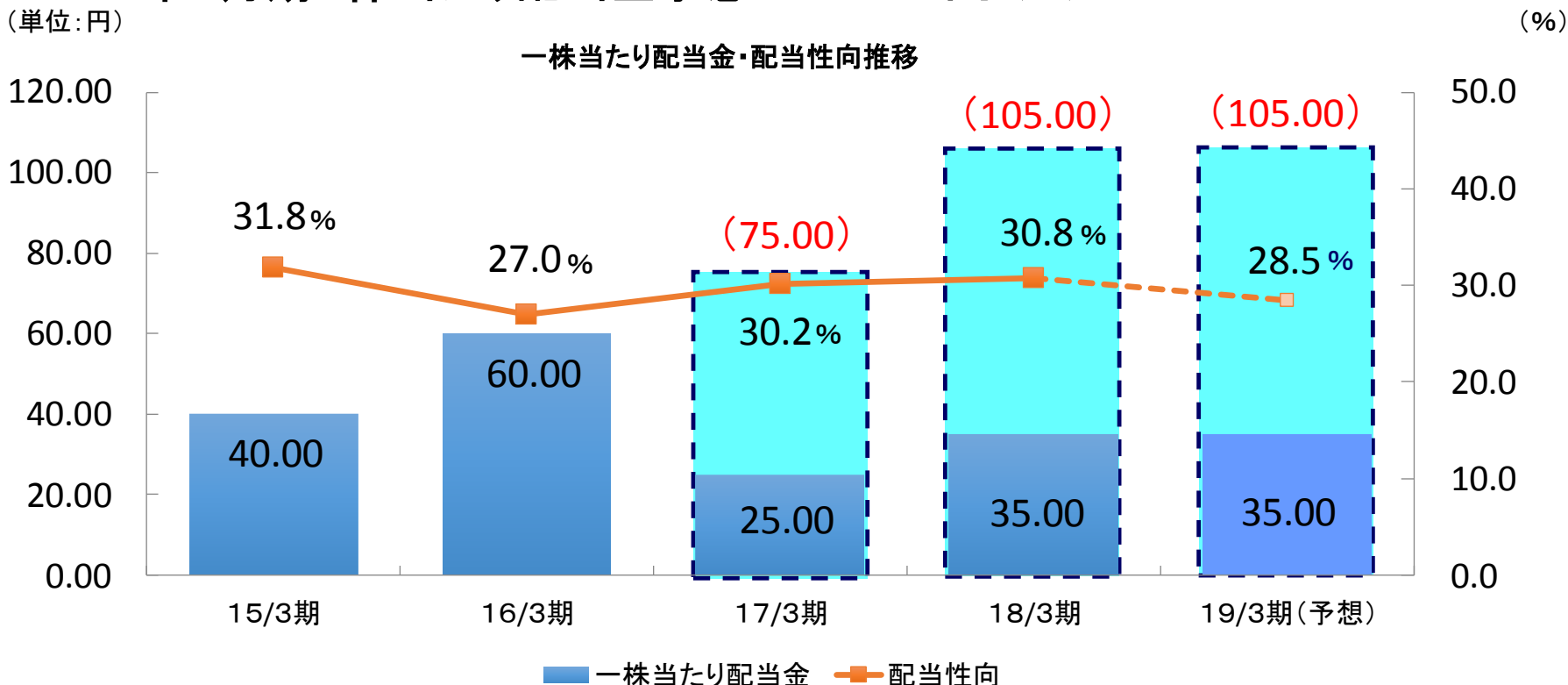
株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2019年3月期1株当たり配当金予想 35円 (注)

(単位:円)



(注) 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。17/3期、18/3期、及び19/3期(予想)の一株当たり配当金は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に遡及修正して換算すると17/3期は75円、18/3期は105円、19/3期(予想)は105円となります。

株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 ＋ 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2017年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当の当社グループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当の当社グループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体10名・連結1,339名
グループ会社	連結子会社17社(国内16社・海外1社)
連結売上高	374億円(2018年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月（平成10年）創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月（平成17年）営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月（平成18年）寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月（平成23年）東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月（平成24年）株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月（平成24年）台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月（平成25年）東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月（平成26年）東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月（平成26年）東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月（平成28年）株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月（平成29年）株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。



小樽洋菓子舗ルタオ



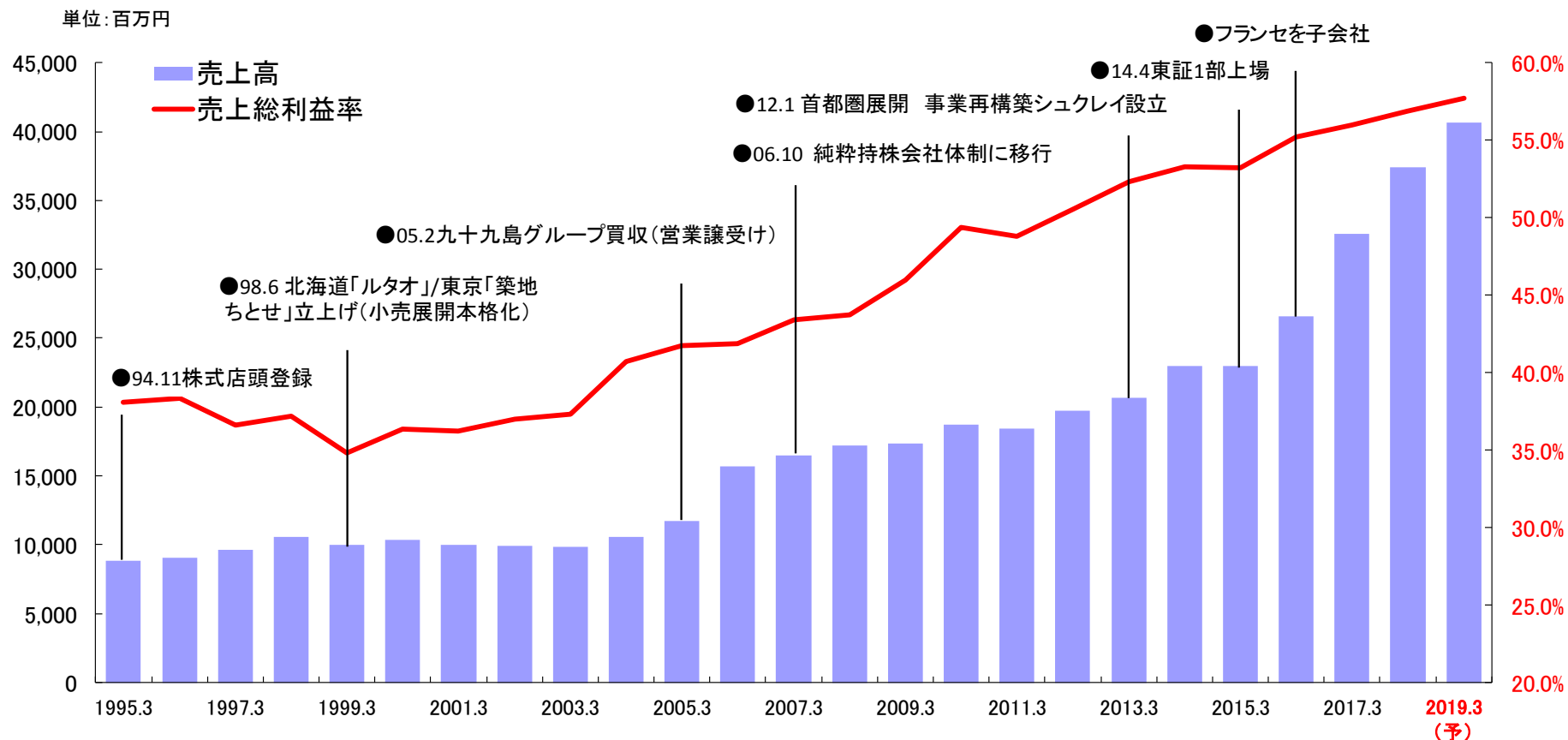
“ドゥーブルフロマーージュ”



“九十九島せんぺい”

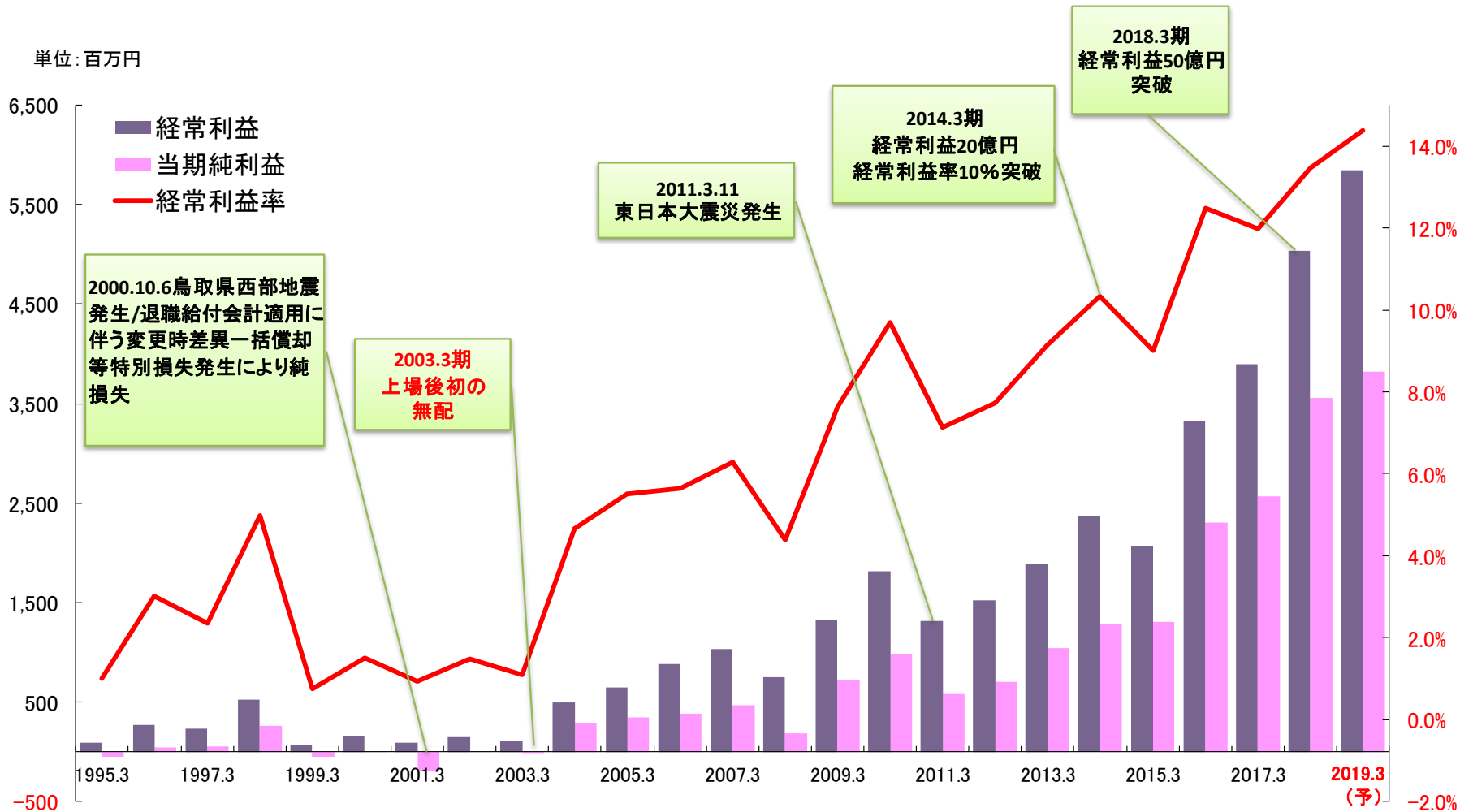
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2018.3期 初の経常利益50億円突破



主要ショップブランド



お菓子の**壽城**
(山陰)

遊月亭
(兵庫)



(北海道)

Ivorish

Premium French Toast

(福岡・東京)



KONDITIONEIREI KOBE

(神戸)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(佐世保・福岡)



FRANÇAIS

(横浜)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実を楽しむミルフィユ」



「九十九島せんべい」



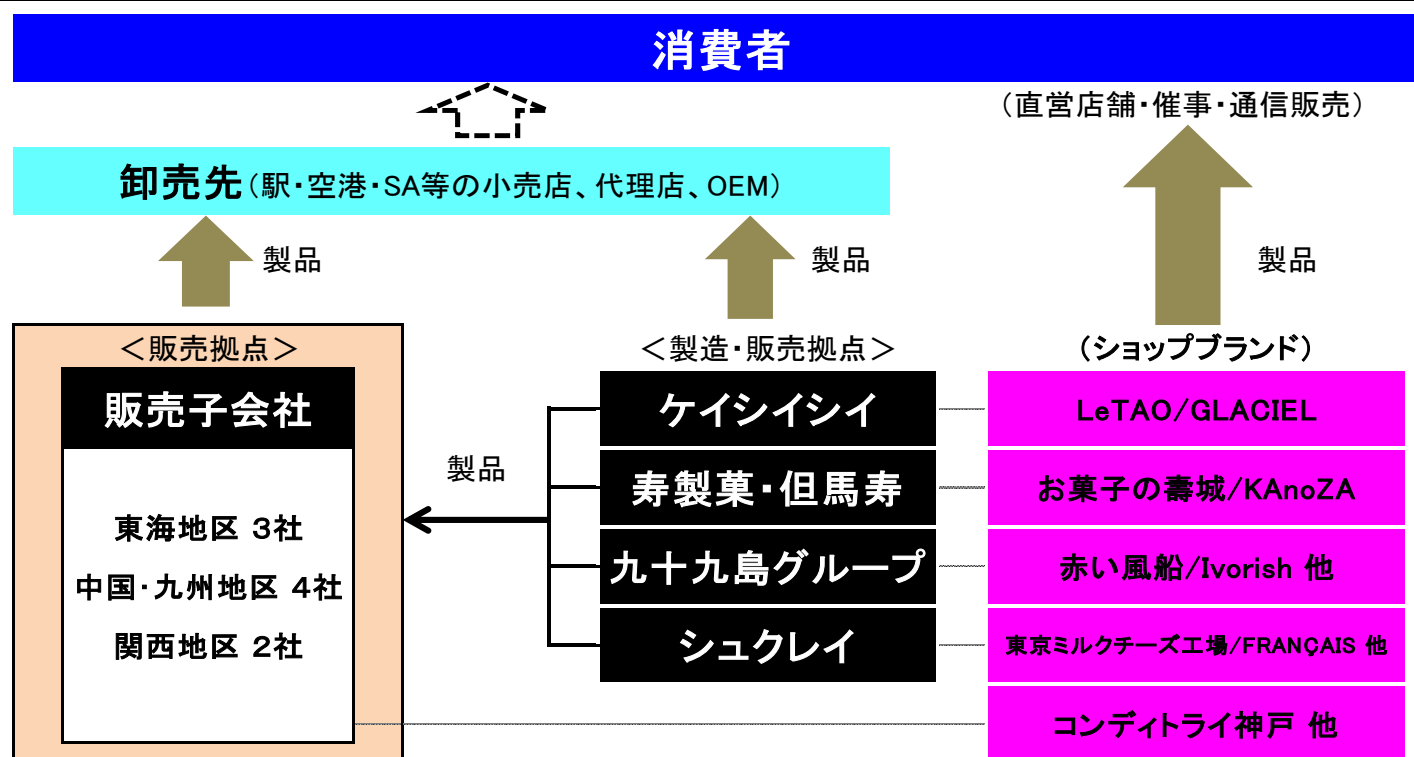
「神戸クリームチーズケーキ」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

《ケイシイシイ》

●OTARU SWEET HALLOWEEN

2017年のOTARU SWEET HALLOWEENは昨年のLeTAO単独での開催から街を挙げた一大イベントに変貌を遂げました。

小樽堺町通り商店街、小樽市の絶大なご協力の元、小樽堺町通りがハロウィン一色に。歴史ある街並みが残された堺町の風景を楽しみながら、小樽市民の皆様、観光客の方々の記憶に残るイベントとなりました。



《寿製菓・但馬寿》

●島根スサノオマジックのオフィシャルスポンサー

昨シーズンの激闘の末、今シーズンよりBリーグB1に昇格した島根スサノオマジック。寿製菓は日本最高峰のリーグで戦う島根スサノオマジックを地元ブースターと共に盛り上げていきます。





《シュクレイ》

●社内報SUCREY MAGAZINE 創刊

シュクレイは社内報SUCREY MAGAZINを創刊しました。
 私達の熱狂的ファン創りは、社内での熱狂的ファン創りから始まります。
 会社のビジョン、同志の仕事への思い、社内の最新情報などを全員で共有し、自らがシュクレイの熱狂的ファンとなり、自信と誇りを持って喜びを創り喜びを提供しています。



《九十九島グループ》

●九十九島よさこいチーム活躍！

第20回YOSAKOIさせぼ祭りにおいて『九十九島舞踊団～菓楽～』が演舞を披露！

『百花繚乱 九十九島』をテーマにした楽しい演舞でお客様に楽しんでいただきました。



《株主懇談会での取組み》

- 2017年6月27日(火)に定時株主総会終了後に開催された株主様との懇談会
LeTAO外山シェフ特製のスイーツが株主様との大切な時間を彩りました。

